

平成 21 年度 第 2 回川崎市事業評価検討委員会 摘録

日時 平成 21 年 11 月 11 日（水）  
午前 10 時から午後 3 時 30 分まで  
場所 川崎区役所 7 階 第 2 会議室

【鷺沼プール跡地周辺地区】

事業説明後、質疑応答

（委員）3 つほど伺う。まず、成果指標のうち、「広場の利用実態（利用者数）」が目標を未達成ということについて、芝生の養生期間があることが原因とのことだが、もし、それが無ければ達成したということによいか。

2 つ目は、その他の指標の「地区人口」について、増加していくことが当然という発想をしているが、現在の大都市において、人口が増えることが求められるものなのか疑問に思うが、その辺はいかがか。

また、3 つ目としては、市民感覚としては、事業費が増えるとか事業期間が延びたということなく、効率良く事業が執行されたのか関心があるが、その点はどうか。「今後のまちづくり方策」欄に、「基盤整備は、計画どおりに、ほぼ達成された」と記載することで、当初の計画通りに終えたということが分かるかと思うがどうか。

（まちづくり局）1 つ目について、芝生の養生期間があったことで、広場の利用ができないこととなったことは、目標達成のためには、かなり影響があったものと考えている。今後は、この地区のもう一つの目標である、交流の場の提供、そして市民が楽しめるイベント等のソフトの充実を図ることが、一層重要となるのではないかと考える。

2 つ目について、担当課としては、施設を整備したのであれば、少しでも多くの方に利用してもらいたい。また、そこで、川崎市に魅力を感じていただければと思う。そのようなことから、より多くの方に市民になっていただくことは、よいことであると考えている。

3 つ目について、当初の計画通りに執行されたと考えている。

（委員）事業費についてだが、土橋小学校の事業費は、主に芝生グラウンドの整備費用ということになるのか。

(教育委員会) まちづくり交付金の他に文部科学省の補助金も入っているので、それとの棲み分けで、文部科学省の補助金が入っていない部分に充当しており、主に校舎について、交付金を充てている。

(委員) カップク鷺沼が整備されてよかったかどうかというアンケートについて、「よかったとは思わない」と回答された方がいるが、どのような理由か。

(まちづくり局) 「土橋小学校の校庭が狭いのではないかと」、「プールがあったころは、夏は賑やかでよかった」という理由があった。

(委員) 最近の研究によると、小学校の校庭を芝生で維持するためには、児童 1 人当たり、5 m<sup>2</sup>から 7 m<sup>2</sup>の校庭面積が必要なのではないかと、という研究結果がある。ここは、1 人当たり、どのくらいあるか。

(教育委員会) 1 人当たり 3 . 8 m<sup>2</sup>である。

(委員) アンケートの回答者数の合計が 4 8 人というのは、私の感覚からすると、少ないように思える。アンケートをどこで集めたのか、また、今後どのようにアンケートの回答者数を増やすのか、または、地区別にアンケートを実施するのか等については、どのように考えるか。

(まちづくり局) 提案事業にカップク鷺沼秋祭りがあるが、これは土橋小学校の学校運営協議会や各施設の担当者を通じて、利用者の皆様にアンケートを実施してもらった。今後は、各施設、イベントの利用者が増えていく状況を見計らって、回答者数を増やす方向で検討する。

(委員) 事業の目標に「多様な世代間交流」、「良好な子育て環境」とあるので、そういう視点から、アンケートを行うことが必要なのではないか。やはり、回答者数は、もう少し多い方がよいのではないかと。

それと、高齢化が進んだり、人口が増えたりするとマイナーコミュニティも変わってくると思うが、今回かなり費用を投じて整備したが、今後、維持管理をしたり、マイナーチェンジをしていくプロセスも同じように大事なため、そのための市民と対話ができるような組織づくりや仕組みづくりが必要ではないかと。

(まちづくり局) 現在のところ、そのような組織はない。ただ、マイナーチェンジなどが

必要になってくれば、区役所等関係機関を交え、利用者等の意見を集める仕組みが必要なのではないかと考える。

(委員) 土橋小学校の児童が、校庭の芝生の養生期間に広場を利用するので、その他の利用者に影響が生じているとのことだが、そういったことがあらかじめ分かっていたら、周辺住民にそれほど悪い印象を与えることはないのではないか。こういうところからすると、逆に、運営の中で、住民との交流が進んでいないのではないかと思う。広場は、今回の事業において、中心となる施設だと思うので、組織づくりなどもしっかりやってもらいたい。

(まちづくり局) 地域交流の件について、若干補足する。小学校の2年生を対象として算数ボランティアとして、地域の方が参加している。6年生の総合学習の時間には、福祉施設に赴いて職場体験を行う取組がある。また、特養老人ホーム「フロンテータウン鷺沼」を利用している方に、土橋小学校の運動会を見に来てもらうことや、なごみ保育園の園児と交流する取組などがある。

委員からの質問への回答として、イベント等のソフトの充実を図る旨を述べたが、今後、このような取組から展開していきたいと考える。